

2009年4月13日
株式会社日立メディコ
執行役社長 浜松 潔

超電導型高磁場オープン MRI 装置「OASIS」を日本国内で発売



【装置概観】

株式会社日立メディコ(本社所在地:東京都千代田区、執行役社長:浜松 潔、資本金 138 億 8 千 4 百万円)は、超電導型高磁場オープン MRI 装置「OASIS」を日本国内で発売します。「OASIS」は昨年米国で販売を開始し順調に販売台数を伸ばしており、今年 3 月には欧州放射線学会(ECR)の出展を皮切りに欧州地域でも販売を開始しました。日本国内でも「OASIS」を販売開始することで、グローバルでの販売を加速してまいります。

1. システムの概要

日立メディコのオープン MRI は狭い所が苦手な患者さまや整形領域などにおいて好評をいただいております、これまでに 4,500 台以上のオープン MRI を販売いたしました。「OASIS」はこの特長を活かしつつ、さらなる診断の可能性を追求。日立グループの総力を結集した開発の末に、従来は難しかったオープン MRI での高磁場化を実現しました。高画質の画像を描出できるようにしただけでなく、従来の MRI では難しかったポジショニングでの撮像が可能になり臨床応用が広がりました。さらに、MRI ガイド下での穿刺、高磁場装置特有の MR スペクトロスコーピー計測などを可能としました。

2. 主な特長

(1)患者さまにやさしいオープンデザイン

「OASIS」のガントリーは、開放角度 270 度、開口部の高さは 44cm と開放性に優れ、さらに柱の位置を左右で非対称に配置しました。これにより、患者さまがテーブルに寝た

ときに感じる開放感を高めただけでなく、治療を伴う検査での患者さまへのアクセスが容易となりました。また、患者さまに安心感を与えるラウンドフォルム・デザインを採用しています。

永久磁石型オープン MRI では難しかったコイルレスの撮像も高磁場 MRI「OASIS」では可能となりました。腰が曲がっている患者さまなどまっすぐに寝ることが困難な場合でも、楽な姿勢で検査を受けていただくことができます。

(2) IVR における MRI の応用

画像のガイドが必要とする穿刺・生検・低侵襲治療などの治療や検査ではこれまで X 線装置、CT 装置が使用されることがほとんどでした。しかし、MRI 撮像は①X 線被ばくがなく、②コントラスト分解能が高く、③任意方向の断面画像が得られるなどの特長があり、MRI ガイド下での治療を行うニーズがありました。

超電導型高磁場オープン MRI 装置「OASIS」はオープン型デザインであること、高磁場化による高速 MRI 撮像ができることで、治療につながる MRI 検査(インターベンショナル MRI)が可能となりました。

(3) 高機能アプリケーション

①MR スペクトロスコピー

医療診断に重要な特定の代謝物質の存在を明らかにすることが可能です。その結果、体を傷つけずに診断を進めることができ、腫瘍の良悪性判別などへの活用が期待できます。

②RADAR(radial acquisition regime)

計測空間を放射状に走査することで、呼吸や血流などの動きによる画像の歪みを抑えることができます。

(4) Sentinel カスタマーサポートサービスに対応

Sentinel カスタマーサポートサービスは高速インターネット回線を使用して、装置の稼働状況を遠隔地で把握するリモートメンテナンスシステムです。異常な情報などを検知した場合は、自動アラーム送信機能により迅速なメンテナンス対応が可能です。

3. 販 売 名 称：日立 MR イメージング装置 OASIS

(医療機器認証番号：第 221ABBZX00063000 号)

4. 定価(標準構成)：15 億円(システム構成により価格は異なります)

5. 発 売 時 期：2009 年 4 月中旬

■お客様お問い合わせ先

株式会社日立メディコ マーケティング統括本部 MRI 戦略本部 【担当：伊藤】

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号秋葉原 UDX18 階

電話 03-3526-8307

■報道機関お問い合わせ先

株式会社日立メディコ 法務・コミュニケーション部 【担当：貝間】

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号秋葉原 UDX18 階

電話 03-3526-8809

以上